

# 『時事直言』 No.1534 2022年2月28日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t\_masuda2019/

[instagram] t\_masuda2019/

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 英語] T\_Masuda\_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## ロシアの SWIFT 除外は逆効果

アメリカ主導の経済制裁の中でも最も厳しいのがロシアの国際銀行間決済情報通信機関 SWIFT (Society for Worldwide Interbank Financial Telecommunication) からの除外であるとされている。

どの国でも SWIFT から除外されたら国際間取引の決済に支障をきたすことになっている。バイデンは、プーチンがウクライナに侵攻したらロシアの金融機関を SWIFT から除外し、プーチン個人の資産も凍結すると度々述べてきたので、プーチンはそれを承知の上でウクライナを侵攻したことになる。

たとえ一部とはいえロシアの銀行の国際取引が不能になればロシア経済に致命的打撃を与えると誰でも思うだろう。ではプーチンはロシア経済が最悪の事態になることを知っていながらウクライナ侵攻を行ったのだろうか。

プーチンは SWIFT にまでエスカレートした制裁に対して核攻撃の準備をするなど報復を一層強化したが、それはアメリカに対露 SWIFT 除外を制止させる為であろうか。欧州はエネルギーの 3 割をロシアに依存しているからドイツなどは当初ロシアの SWIFT 除外に反対していたが、アメリカの要望を受け入れてやむなく賛成したことになっている。北京オリンピック開催日中国を訪問したプーチンは習近平国家主席からアメリカと欧州から経済制裁を受けた場合は中国が補填するという確約を得ていた。(原油や天然ガスの対欧州輸出が減少した分は中国が引き受ける)

ロシアの軍事侵攻でウクライナの主権が脅かされたにも関わらず、アメリカも NATO も安全保障行為を一切取らなかった為ゼレンスキー大統領(ウクライナ)はアメリカに不満を募らせ、失望している。ロシアに軍事侵攻されたウクライナを見捨てたアメリカを見て、台湾有事に果たしてアメリカは中国の台湾軍事侵攻を阻止してくれるだろうか、と言った心配が台湾に広まっている。

ロシアのウクライナ軍事侵攻で中国は間違いなく台湾への軍事侵攻がし易くなった。2014 年から今日までロシアはアメリカと欧州から経済制裁を受けてきたからどんな制裁でも準備が出来ている。アメリカが二言目には SWIFT を政治利用するので、2015 年から中国とロシアは SWIFT に代わる人民元を基軸とした CIPS(Cross-border Inter-bank Payments System)を構築、以来 100 か国以上が加盟している。(ロシアの天然ガス最大輸出国ドイツが加盟しているのは当然)同システムの利用額順位は日本一位、ロシア二位、台湾三位である。

中国とロシアは CIPS の加盟国と取引額を増やすことでドルに代わって人民元の国際シェア拡大を狙っている。やがて中国は CIPS に加盟しない国とは国際取引をしないと宣言し、SWIFT の加盟国を CIPS に移行させ、ドルを市場から排除するだろう。SWIFT 加盟国でロシアから原油と天然ガスを買いたい国は CIPS に加盟しなくてはなくなる。アメリカがロシアを経済壊滅に追い込む為の手段に使用している対露 SWIFT 除外は CIPS 拡大、SWIFT とドルの衰退を推し進めることになる。

トランプがプーチンは天才政治家、バイデンは自分が何しているのか分かっていない老骨と言うのは当たっているのかも知れない。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。